DIREZZA SPORTMAX

SUPERBIKE EXPRESS-1

EXtra, EXpert and EXtreme

THE HEROIC RIVALS
at their several strongholds
who will win? It is me who gets the honor.
2020

JSB1000
ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP

QUALIFYING PRACTICE
REPORT & INTERVIEW

野左根航汰が独走で優勝！
中須賀克行はまさかのクラッシュ!!
サバイバルレースで清成龍一が2位、濱原颯道が3位

2020年の全日本ロードレース選手権第1戦が、8月になり、ようやく宮城県・スポーツランドSUGOで始まった。コロナ禍のもと、4月に開幕するはずだったが、延期や中止が相次いでしたが、ついに2020年の最初のレースを迎えていた。

7月下旬に行われた公開テストは、初日に大雨に見舞われ午後のセッションがキャンセルされるなど、天候に恵まれなかった。8月に入り、東北地方も梅雨空けし、暑い日が続いていたため、レースウイークの初日となった土曜日は、雨。公式予選、そしてJSB1000クラスのレース1が行われた日曜日も朝から雨模様となっていた。

公開テストからYAMAHA FACTORY RACING TEAMの2人がセッションをリードしており、ウエットとなった公式予選も野左根航汰がリードしダブルポール。2番手に今シーズン10回目のチャンピオンを狙う中須賀克行が続き強さを見せる。セカンドタイムで決定するレース2のグリッドは、清成龍一が3番手に食い込むが、前田恵助もレース1のグリッドは3番手、レース2は4番手と速さを見せていた。

雨は、ときおり止むものの路面は乾かず、ウエットコンディションのままレース1のスタートを迎える。好スタートを見せたのは、ポールポジションスタートの野左根、これにセカンドロウ4番手グリッドの清成も続くが、2コーナーでイン側から中須賀が前に出て2番手に浮上すると4コーナーのブレーキングで野左根をかわしてトップに立つ。しかし野左根も加速で並びかけ、2台並んだままS字コーナーに入って行くとハイポイントで野左根が前に出る。これで落ち着いたかと思われたが、シケイン手前の110Rで中須賀が抜き返し、オープニングラップからチームメイト同士の激しいバトルを繰り広げる。しかし、その決着は、その直後の2コーナーで着くことになる。

2周目の1コーナーへのブレーキングでインから野左根が前に出るが、2コーナーでインを取った中須賀が再び前に出て行く。しかし、2コーナー立ち上がりでアクセルを開けた中須賀は、ハイサイドで転倒を喫してしまい痛恨のリタイア。右肩を痛めてしまい、月曜日のレース2は、出走できるか分からない状況だ。

中須賀の転倒により野左根は、すぐさま独走体制を築きレースをリードして行く。後方では、清成の背後に水野涼が迫り前田、渡辺一樹、渡辺一馬、濱原颯道、秋吉耕佑、柳川明、加賀山就臣、岩田悟と続いていた。2番手争いは、清成と水野が繰り広げていたが、10周目の1コーナーで清成のフロントが流れ、はらんだところを水野は見逃さず、3コーナーでインを突き2番手に浮上。そのまま清成を引き離して行く。しかし、15周目の1コーナーで転倒を喫してしまう。水野は、すぐに再スタートすると転倒したにも関わらず4番手でコースに復帰する。水野の転倒で清成が再び2番手に上がり、3番手には濱原が浮上していた。雨はほとんど止んでいたものの、逆に中途半端なコンディションが足もとをすくう結果になったようで転倒が相次いだ。加賀山、前田、渡辺一樹、渡辺一馬、津田一磨、秋吉も転倒を喫し、出走した19台中8台が転倒するサバイバルレースとなった。

レース2の行われる山の日は、晴れて暑くなる予報となっている。レース1とは、違う展開が待っていることも予想されるが、野左根が速さを見せそうだ。初開催となるST1000クラスの初ウイナーは誰になるか？

激戦のST600クラスは、ゼッケン1をつける小山に若手が挑む。そして若手が台頭しているJ-GP3クラスは、どんなレース展開になるか？　いずれも、このレースウイークで初めてドライコンディションで走ることになるため、うまくアジャストできたライダーがイニシアチブを握ることになるだろう。

Text & Photo : Toshihiro Sato & SUPERBIKE.JP / Photo : H. Wakita / Issued by SUPERBIKE.JP ©2020

JSB1000
All JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP

レース1ポールポジション：1'36.032
レース2ポールポジション：1'36.273
#3　野左根 航汰
YAMAHA FACTORY RACING TEAM

『優勝できて、うれしいです。スタートして中須賀選手と何度も順位を入れかえましたが、ドライとは違ってコンディションが変わってくるので序盤のうちに前に出ておきたかったので、その考えが一致していたんだと思います。（中須賀選手が）転倒という形だったのは、残念でしたが、トップに立ってからは、路面の状況が変わる中、集中力を切らさずに走るのが大変でした。事前テストで転倒しているので、その経験が役に立ちました。幸先よいスタートになりましたが、レース2も集中して勝ちを狙っていきます』

JSB1000 決勝 [Race1] 正式結果表

●予選・決勝[Race1]（25周）／8月9日（日）：天候・路面／雨・ウエット

Pos	No	Rider	Team
1	3	野左根 航汰	YAMAHA FACTORY RACING TEAM
2	17	清成 龍一	Keihin Honda Dream SI Racing
3	72	濱原 颯道	Honda Dream RT 桜井ホンダ
4	634	水野 涼	MuSASHi RT HARC-PRO.Honda
5	36	岩田 悟	Team ATJ
6	87	柳川 明	will raise racingRS-ITOH
7	25	亀井 雄大	Honda Suzuka Racing Team
8	44	関口 太郎	SANMEI Team TARO PLUSONE
9	28	児玉 勇太	Team Kodama
10	19	中冨 伸一	HiTMAN RC甲子園ヤマハ
11	21	今野 由寛	Moto Map SUPPLY
12	42	櫻山 茂昇	信州活性プロジェクト・Team長野
以上チェッカー			
13	13	津田 一磨	Baby Face POWERED by YOSHIMURA
14	090	秋吉 耕佑	au・kosuke racing
------- 以上完走 -------			
	33	渡辺 一馬	Keihin Honda Dream SI Racing
	75	前田 恵助	YAMALUBE RACING TEAM
	5	渡辺 一樹	YOSHIMURA SUZUKI MOTUL RACING
	71	加賀山 就臣	Team KAGAYAMA
	1	中須賀 克行	YAMAHA FACTORY RACING TEAM

参加台数:19台　出走台数:19台　完走台数:14台
ベストラップ: 3 野左根 航汰　1'36.304　5/25　135.363km/h

全日本ロードレース選手権シリーズ
スーパーバイクレース in SUGO
併催：2020 MFJカップ JP250選手権 第1戦
2
1
3

JP250
Presented by DUNLOP

笠井悠太（INT）田中敬秀（NAT）今季初優勝！

2020 MFJカップJP250選手権 第1戦SUGOの決勝レースは、ポールポジションの上原大輝がウォームアップラップでトラブルでマシンを止め、2番手の横江竜司も転倒するという上位陣に波乱の中、中村龍之介、田中敬秀、笠井悠太らトップ集団を形成。

ゼッケン1を掲げる笠井は、それまでトップの田中をパスして6周目にトップに浮上、最後には大きく引き離し今季初優勝を飾った。2位の田中がクラス優勝。

決勝正式結果（12周／上位10位）

●8月10日（日）予選・決勝　天候／雨　路面／ウエット　出走22台

Pos	No	Cls.		Rider	Team	RaceTime
1	1	I	1	笠井 悠太	TEAM TEC.2 & YSS	23'48.633
2	26	N	1	田中 敬秀	YUEエムズホーム7C&WAKO'S+NTR	23'59.874
3	37	I	2	中村 龍之介	ENDLESS TEAM SHANTI	24'07.301
4	58	I	3	加藤 祐樹	ガレージL8&KT・plus	24'14.790
5	62	N	2	佐藤 稜	ガレージL8.RT&MOTOTEC-R4	24'23.174
6	43	N	3	笠井 杏樹	TEAM TEC.2 & K0 Racing	24'23.721
7	44	N	4	吉田 正徳	OVER LAP PLUSONE	24'35.511
8	8	I	4	阿部 徹郎	PJ1・あべスピ・ヤマハ&ガレージL8	24'35.970
9	27	I	5	石井 千優	千葉北ポケバイコース TeamN-PLAN	24'36.345
10	32	N	5	石塚 桂三	Team SANMEI	24'43.750

DUNLOP OFFICIAL TYRE SUPPLIER

ST1000
All JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP
QUALIFYING PRACTICE
REPORT & INTERVIEW

高橋裕紀が新設クラスで初ポールポジション獲得！
「この凄いポテンシャルの新型バイクを勝ちに導きたい！」

高橋裕紀

今季新設クラスで、最も注目を集めるST1000クラスもようやく開幕レースを迎えることになった。

J-GP3に続いて行われ、雨も収まり始める気配で、風も出てくるというコンディションとなったST1000クラスの予選セッション。

土曜日のART走行でもウエットコンディションでトップタイムをマークしている高橋裕紀が、セッション早々にトップに付ける。同じ新型Honda CBRの榎戸育寛、BMWの星野知也、YAMAHAの藤田拓哉らが39秒台で続く展開でセッションの幕を開けた。

高橋は5周目に1分39秒001をマークすると、そのまま新設ST1000クラスで初めてのポールポジションを決めた。2番手が榎戸で39秒668, 星野は後半にマークした39秒668で3番手となった。4番手は藤田が39秒986, 5番手に40秒527で岩﨑哲朗、6番手が作本輝介でタイムは40秒848だった。

ポールポジション：1'39.001
#23　高橋 裕紀
日本郵便HondaDream TP

『1分37秒～38秒の目標タイムに届かなかったのは悔しいですが、走行するたびにこのバイクをどうやって活かしていこうかと考えていて、ベースのポテンシャルは素晴らしいですし、それを伸ばしていけば目標にも届くんじゃないかなとは思います。でも自分もチームも今走っていてとても楽しいんです。ああしたら、こうしたらと手を入れて、それがタイムにつながる、そしてそのバイクが誰にでも手に入るというのを考えるとワクワクします。決勝に向けては、まだまともに走ったことのないドライになりそうですので、明日のフリー走行で最終確認して、新型CBRで全日本、クラス初優勝を勝ち取りたいですね』

ST 600
All JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP
QUALIFYING PRACTICE
REPORT & INTERVIEW

ST600 Official Tire

小山知良がポールポジション獲得！「レースは全開の走りでお客さんを楽しませたい！」

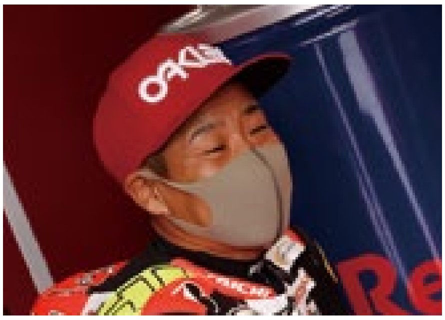
小山知良

この日最後となったST600クラスの公式予選も雨は上がりつつある難しい状況で迎えたこともあり、序盤転倒者が多く見られた。そのため赤旗も提示され、一旦仕切り直しのセッションとなった。

セッション開始15分ほど経過していたその時点では、綿貫舞空、長尾健吾、阿部恵斗、和田留佳の順でモニター上位が構成されており、小山知良が8番手、南本宗一郎、岡本裕生がそれに続くという状況だった。終盤に向かって各ライダーがタイムを更新する中、アタックするタイミングを見計らっていた小山知良が、満を持して最終周回にアタック、1分42秒818のタイムで見事ポールポジションを獲得した。

2番手には43秒163の岡本裕生、3番手には國峰啄磨が43秒176の僅差で付けている。

その後に南本、荒川晃大、阿部と続き、セカンドロウを形成した。小山は決勝レースに対し、『予選ではベテランらしくタイムを出し、決勝ではイケイケで走りますよ』と語っている。



ポールポジション：1'42.818
#1　小山知良
日本郵便HondaDream TP

『こういった難しいコンディションでしたので、予選の最後の最後でタイムを出すつもりで、アタックのタイミングを図っていました。雨の単独でタイムを出すのはなかなか難しいので、セッションの最後にちょうど前の方にいいペースの集団がいたんですね。岡本選手も見えたのでついて行ったら（ポールポジションを）取れた、という感じなので、あまり格好良いとは言えませんが…。予選は一発のタイムを出せば良いので、何周もしなくてもいいんですね。そういった間のとり方のようなものは、グランプリで身についた業です。決勝はドライになりそうですが、予選ではベテランらしいポールポジションで、決勝はイケイケ全開の走りをするつもりです。お客さんもその方が面白いし、昨年のチャンピオンもタイトル、というより一つひとつのレースの結果でしたからね』

J-GP3
All JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP
QUALIFYING PRACTICE
REPORT & INTERVIEW

村瀬健琉が全日本初ポールポジション！「感触の良いドライのレースになれば、逃げるレースをしたい！」

村瀬健琉

朝になっても降り続いた雨がJ-GP3クラスの予選にも影響し、コンディションはヘビーウエットで始まった公式予選。その中で昨日のART走行でトップの小室旭が、まずモニターのトップに着ける。しかし、雨が残るコンディションの中で順位は入れ替わり、村瀬健琉が序盤にトップを奪うと、古里太陽、江澤伸哉、千田俊輝らの若手ルーキーたちも続々とモニター上位に着ける展開に。

1セッション35分の予選は、序盤からトップをキープしていた村瀬が僅かな残り時間に再度アタック、それまでのベストをコンマ8秒更新、1分50秒049をマークした。同じく小室も最後のアタックを敢行したが、50秒578と村瀬にはコンマ5秒及ばないものの、一度は落としていた順位を2番手に浮上させてセッションを終えた。3番手が古里で51秒267、4番手に千田で51秒279と続く。

ポールポジション：1'50.049
#3　村瀬 健琉
Team TKR

『最初は雨量が少なかったので、このタイミングでタイムを出そうと考えて最初からペースを上げていきました。後半になって雨が激しくなったんですが、最後の残り数分くらいでまた（雨量が）少なくなってきたので、ラストアタックに挑みました。決勝はドライコンディションになると思いますが、先日のテストからドライでのセッションはいい感じで走れていますので、逃げるレースができるかな、と思ってます。ただ、小室さんとか、今回も若くて速いライダーもたくさん出ていますので、差をつけるのは難しいとは思いますが、決勝朝のウォームアップ走行でドライのセットを確認して決勝に臨みたいと思います』

MFJ Superbike Round 1 SUPERBIKE RACE in SUGO 9 - 10 August 2020 公式予選結果

JSB1000

●予選：天候／雨　路面／ウエット　出走19台
●決勝[Race2]スタート進行／13:55(25周)

JSB1000[Race2]　公式予選 セカンドラップタイム 正式結果表

Pos	No.	Name	Team	Machine	2nd Time
1	3	野左根 航汰	YAMAHA FACTORY RACING TEAM	YZF-R1	1'36.273
2	1	中須賀 克行	YAMAHA FACTORY RACING TEAM	YZF-R1	1'36.585
3	17	清成 龍一	Keihin Honda Dream SI Racing	CBR1000RR-R	1'37.490
4	75	前田 恵助	YAMALUBE RACING TEAM	YZF-R1	1'37.621
5	5	渡辺 一樹	YOSHIMURA SUZUKI MOTUL RACING	GSX-R1000	1'37.930
6	634	水野 涼	MuSASHi RT HARC-PRO.Honda	CBR1000RR-R	1'38.197
7	72	濱原 颯道	Honda Dream RT 桜井ホンダ	CBR1000RR-R	1'39.586
8	33	渡辺 一馬	Keihin Honda Dream SI Racing	CBR1000RR-R	1'39.874
9	71	加賀山 就臣	Team KAGAYAMA	GSX-R1000	1'40.715
10	090	秋吉 耕佑	au･kosuke racing	CBR1000RR-R	1'40.763
11	13	津田 一磨	Baby Face POWERED by YOSHIMURA	GSX-R1000R	1'42.159
12	87	柳川 明	will raise racingRS-ITOH	ZX-10RR	1'42.253
13	44	関口 太郎	SANMEI Team TARO PLUSONE	S1000RR	1'43.024
14	25	亀井 雄大	Honda Suzuka Racing Team	CBR1000RR-R	1'43.178
15	19	中冨 伸一	HiTMAN RC甲子園ヤマハ	YZF-R1	1'43.186
16	36	岩田 悟	Team ATJ	CBR1000RR-R	1'43.287
------- 以上予選通過 -------					
	21	今野 由寛	Moto Map SUPPLY	GSX-R1000R	1'44.628
	28	児玉 勇太	Team Kodama	YZF-R1	1'45.424
	42	櫻山 茂昇	信州活性プロジェクト･Team長野	S1000RR	計測出来ず

予選通過基準タイム（107%）1'43.308

Supported by
BRIDGESTONE

ST600

●予選：天候／雨　路面／ウエット　出走38台
●決勝スタート／15:20(20周)

Pos	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	1	小山 知良	日本郵便HondaDream TP	CBR600RR	1'42.818
2	41	岡本 裕生	51ガレージ ニトロレーシング	YZF-R6	1'43.163
3	104	國峰 啄磨	TOHO Racing	CBR600RR	1'43.176
4	2	南本 宗一郎	AKENO SPEED･YAMAHA	YZF-R6	1'43.194
5	54	荒川 晃大	MOTO BUM HONDA	CBR600RR	1'43.606
6	39	阿部 恵斗	Webike チームノリックヤマハ	YZF-R6	1'43.622
7	50	長尾 健吾	NCXXRACING&善光会 TEAMけんけん	YZF-R6	1'43.627
8	36	井手 翔太	AKENO SPEED･YAMAHA	YZF-R6	1'43.758
9	9	菅原 陸	保険職人 GBSレーシング YAMAHA	YZF-R6	1'43.823
10	340	岡村 光矩	KRP三陽工業&RS-ITOH	ZX-6R	1'43.879
11	11	伊達 悠太	BATTLE FACTORY	CBR600RR	1'43.919
12	75	綿貫 舞空	伊藤レーシングBORGカスタム	YZF-R6	1'43.955
13	99	渡部 裕貴	RT森のくまさん佐藤塾&ガレージL8	YZF-R6	1'44.263
14	51	関野 海斗	51ガレージ ニトロレーシング	YZF-R6	1'44.580
15	341	和田 留佳	KRP三陽工業&RS-ITOH	ZX-6R	1'44.626
16	90	齊藤 魁	テルル･MotoUP レーシング	CBR600RR	1'44.685
17	32	名越 公助	TEAM PLUSONE	YZF-R6	1'44.726
18	33	中山 耀介	伊藤レーシング & TEAM SHOTA	YZF-R6	1'44.797
19	31	鈴木 光来	MOTO BUM HONDA	CBR600RR	1'44.853
20	18	横山 尚太	ガレージL8 RACING TEAM･YAMAHA	YZF-R6	1'44.966
21	71	埜口 遥希	SDG Mistresa RT HARC-PRO	CBR600RR	1'45.037
22	37	櫻井 賢一	MOTO BUM	CBR600RR	1'45.164
23	98	佐野 勝人	TEAM VITAL SPIRIT	YZF-R6	1'45.280
24	10	古山 颯太	OZT Racing with YSP名古屋西	YZF-R6	1'45.412
25	40	豊島 智博	RS-ITOH	ZX-6R	1'45.423
26	49	松岡 玲	伊藤レーシングBORGカスタム	YZF-R6	1'45.430
27	97	佐野 優人	TEAM VITAL SPIRIT	YZF-R6	1'45.554
28	38	伊藤 元治	MOTOBUM HONDA	CBR600RR	1'45.825
29	46	芳賀 涼大	ニトロレーシング	YZF-R6	1'46.018
30	19	中村 竜也	RS-ITOH&オートボーイ	ZX-6R	1'46.032
31	53	家根谷 大晟	Team MF&Kawasaki	ZX-6R	1'46.253
32	22	長尾 健史	冨永総業TEAMけんけんwithBEE	YZF-R6	1'46.931
33	45	芳賀 瑛大	ニトロレーシング	YZF-R6	1'46.946
34	44	平野 ルナ	TransMap Racing with ACECAFE	YZF-R6	1'47.243
35	17	田所 隼	Honda Suzuka Racing Team	CBR600RR	1'48.142
36	61	宮脇 寿郎	Fireworks & 保険職人 Riders Party	ZX-6R	1'49.374
37	60	得田 正浩	TeamTOKU&ガレージL8	YZF-R6	1'50.863
------- 以上予選通過 -------					
	56	梶田 博文	G!trax RSR 三浦ポンプセンター	YZF-R6	1'52.250
	84	繁永 虎之介	TEC.2 & 無法松 & DS.Company	YZF-R6	出走せず

予選通過基準タイム（108%）1'51.297

J-GP3

●予選：天候／雨　路面／ウエット　出走24台
●決勝スタート／10:45(20周)

Pos	No.		Name	Team	Machine	BestTime
1	3		村瀬 健琉	Team TKR	NSF250R	1'50.049
2	32		小室 旭	Sunny moto planning AKR	RC250R	1'50.578
3	35		古里 太陽	Team WAKO'S	NSF250R	1'51.267
4	95		千田 俊輝	SDG Mistresa Jr.Team	NSF250R	1'51.279
5	70		山田 尚輝	SDG Mistresa Jr.Team	NSF250R	1'51.877
6	72	C	藤田 哲弥	Team P.mu 7C MIKUNI	NSF250R	1'51.978
7	71		成田 彬人	Team P.mu 7C MIKUNI	NSF250R	1'52.402
8	28		野澤 秀典	TONE RT SYNCEDGE4413 NRF	NSF250R	1'52.702
9	38	C	江澤 伸哉	Team SRS-Moto	NSF250R	1'52.815
10	43		彌榮 郡	ClubPARIS･Y's	NSF250R	1'52.816
11	2		鈴木 大空翔	BATTLE FACTORY	NSF250R	1'53.124
12	11		山本 恭裕	TEAMLIFE･ドリーム北九州	NSF250R	1'53.291
13	41		宇井 陽一	41Planning	TR-004	1'53.793
14	20		村田 憲彦	TEAM SAMURAI	NSF250R	1'53.832
15	45		木内 尚汰	S-Speed	NSF250R	1'53.905
16	55	S	上江洲 葵要	ライダーズサロン横浜☆ペンスケ	NSF250R	1'54.185
17	53	S	内海 孝太郎	ライダーズサロン横浜	NSF250R	1'54.224
18	12		高杉 奈緒子	Team NAOKO KTM	RC250R	1'54.877
19	57	S	渡邉 虎太郎	Team SRS-Moto	NSF250R	1'55.010
20	33	C	仲村 瑛冬	犬の乳酸菌.jp/プリミティブRT	NSF250R	1'55.386
21	51	S	田中 風如	WJ-FACTORY&CLUB Y's	NSF250R	1'57.252
22	8		岡崎 静夏	RT YOLO SARD&ぱわあくらふと	NSF250R	1'57.686
------- 以上予選通過 -------						
	58	S	中嶋 昴士	Team BATTLE	NSF250R	2'00.014
	50	S	山本 航	ライダーズサロン横浜	NSF250R	計測出来ず
	83		幡多 智子	ピヨピヨRacing	NSF250R	出走せず

予選通過基準タイム（108%）1'59.482
※S:特別枠参加　C:チャレンジクラス

DUNLOP
OFFICIAL TYRE SUPPLIER

ST1000

●予選：天候／雨　路面／ウエット　出走22台
●決勝スタート／11:50(17周)

Pos	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	23	高橋 裕紀	日本郵便HondaDream TP	CBR1000RR-R	1'39.001
2	71	榎戸 育寛	SDG Mistresa RT HARC-PRO	CBR1000RR-R	1'39.668
3	46	星野 知也	TONE RT SYNCEDGE4413 BMW	S1000RR	1'39.668
4	33	藤田 拓哉	SpeedheartDOGFIGHTRACINGYAMAHA	YZF-R1	1'39.986
5	70	岩﨑 哲朗	OGURA CLUTCH with RIDE IN	YZF-R1	1'40.527
6	17	作本 輝介	Keihin Honda Dream SI Racing	CBR1000RR-R	1'40.848
7	634	名越 哲平	MuSASHi RT HARC-PRO	CBR1000RR-R	1'41.449
8	104	國川 浩道	TOHO Racing	CBR1000RR-R	1'41.879
9	26	谷本 音虹郎	SpeedheartDOGFIGHTRACINGYAMAHA	YZF-R1	1'42.090
10	7	新庄 雅浩	RS-ITOH&AUTOBOY FirstStar	ZX-10R	1'42.383
11	85	津田 拓也	WestPower･S-SPORTS･SUZUKI	GSX-R1000R	1'42.401
12	14	伊藤 和輝	will raise racingRS-ITOH	ZX-10RR	1'42.655
13	87	清末 尚樹	TEAM WITH 87 KYUSYU	ZX-10RR	1'42.780
14	57	奥田 教介	Team MF & Kawasaki	ZX-10RR	1'43.509
15	13	柴田 義将	OGURA CLUTCH with RIDE IN	YZF-R1	1'44.128
16	15	D. Zechariah	Odakaihatsu aprilia + TOHO	RSV4	1'45.234
17	18	上林 隆洸	浜松チームタイタン	GSX-R1000R	1'45.913
18	12	長谷川 聖	Team KAGAYAMA powerdbyYOSHIMURA	GSX-R1000	1'46.110
19	16	松川 泰宏	MOTO BUM+SAI	CBR1000RR-R	1'46.160
20	91	中山 智博	Team91孫悟空&G.H.H	Ninja ZX-10R	1'46.766
------- 以上予選通過 -------					
	43	菊地 敦	TEAM･WILD☆HEART	YZF-R1	1'47.908
	55	笹原 隆男	片倉オート商会☆YSP横浜南☆ESUO	YZF-R1	1'52.550

予選通過基準タイム（108%）1'47.401

INFORMATION

tv. moto Channel
tv.Moto ちゃんねる

国内最高峰のJSB1000クラスに加え、新設されたST1000クラスを中心に日本のトップライダー達の熱いバトルの模様などをお届けします。
また、新車インプレッション等の最新二輪情報満載のバイク番組です。

土曜21:30〜
放送日程は決まり次第、お知らせ致します。
☆詳しくはBS12（トゥエルビ）http://www.twellv.co.jp/

moto ちゃんねる × MFJ Live CHANNEL ×

全日本ロードレース選手権全戦・全クラス（JSB1000/J-GP2/ST600/J-GP3 & MFJカップJP250）の予選・決勝をライブ配信！ 迫力ある映像をお届けします。
※通信環境によりディレイ配信となる場合もあります

インターネットライブ&動画配信も充実!!

YouTube「MFJ SUPERBIKEオフィシャルチャンネル」では、予選・決勝直後のライダーインタビューを中心に、全日本ロードレースの迫力を動画にて配信！